

HIV 感染症・エイズ

最近の HIV 感染者/AIDS 患者報告から

感染症法に基づき報告されている国内の累積 HIV 感染者及び AIDS 患者数は、平成 20 年 12 月 28 日現在で、それぞれ、10,539 人、4,900 人、このうち埼玉県は、それぞれ 323 人、243 人です。平成 20 年（平成 19 年 12 月 31 日～平成 20 年 12 月 28 日の 1 年間）の国内の新規 HIV 感染者および新規 AIDS 患者報告数は、それぞれ 1,113 件、432 件で、どちらも過去最高でした。新規感染者、新規患者とも、男性が 90%以上を占めており、感染経路別では、同性間性的接触によるものが最も多く（新規感染者の 69%、新規患者の 44%）、年齢別では、新規感染者は 20～40 歳代が多数（約 85%）を占め、新規患者は 20～50 歳以上の年代に広く分布しています。

HIV-2 感染症例について

これまで、国内においてほとんど報告例のなかった HIV-2 感染例が、平成 19 年に 2 例、平成 20 年に 2 例見つかっているとの通知（健疾発第 0203001 号）が、今年 2 月に厚生労働省から出されました。保健所、衛生研究所等における HIV 検査体制は、既に HIV-2 についてもきちんと網羅されていますが、改めて注意が喚起されたところです。

埼玉県の保健所で受け付けしている HIV 検査

埼玉県では、13 カ所の県保健所で HIV 相談検査を受け付けています。検査には、受付後 1 週間で検査結果がわかる「通常検査」と、陰性の場合なら、採血後 1 時間で結果がわかる「即日検査」があり、即日検査は東松山、熊谷、越谷、鴻巣、朝霞、所沢保健所および狭山分室の 7 カ所で実施しています。昨年度は通常検査で 2,510 件、即日検査で 2,067 件の計 4,577 件の検査を受け付け、うち 11 件の陽性が確認されました（下表）。また即日検査での偽陽性（スクリーニング検査で陽性だが、その後の追加検査や確認検査で陰性）は 10 件（0.48%）でした。即日検査における陽性には偽陽性の可能性があり、その場合確認検査が必要であること等、受検者に対する十分な事前説明が大切です。

表 通常検査及び即日検査の HIV 検査数（県疾病対策課集計）

年 度	通常検査	即日検査	計
18 年度 (18 年 4 月～19 年 3 月)	1,661 (3)	1,401 (3)	3,062 (6)
19 年度 (19 年 4 月～20 年 3 月)	2,927 (5)	1,718 (6)	4,645 (11)
20 年度 (20 年 4 月～21 年 3 月)	2,510 (4)	2,067 (7)	4,577(11)

()内の数字は陽性数